

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2002-200575  
(P2002-200575A)

(43)公開日 平成14年7月16日(2002.7.16)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード(参考)
B 25 C 5/16		B 25 C 5/16	3 C 0 6 8
5/04		5/04	3 F 1 0 8
5/15		5/15	
B 65 H 37/04		B 65 H 37/04	D

審査請求 未請求 請求項の数5 O.L (全8頁)

(21)出願番号 特願2000-402785(P2000-402785)

(22)出願日 平成12年12月28日(2000.12.28)

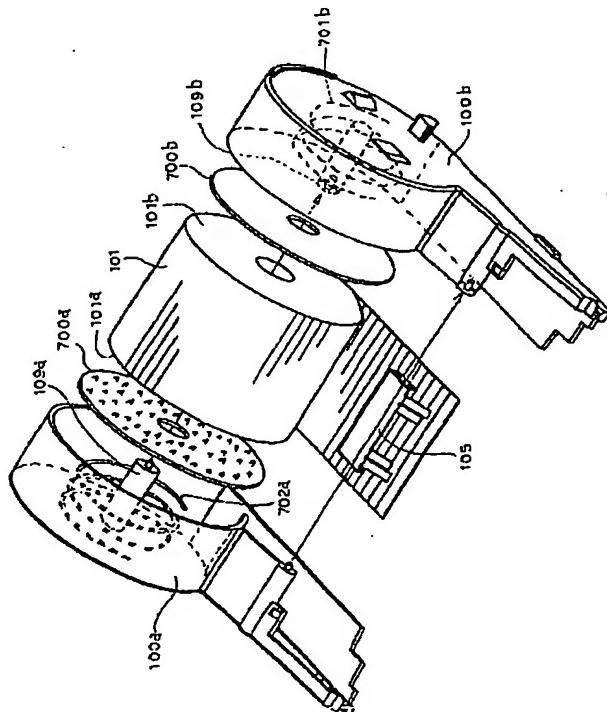
(71)出願人 000231589  
ニスカ株式会社  
山梨県南巨摩郡増穂町小林430番地1  
(72)発明者 望月 直人  
山梨県南巨摩郡増穂町小林430番地1 二  
スカ株式会社内  
(72)発明者 佐直 洋介  
山梨県南巨摩郡増穂町小林430番地1 二  
スカ株式会社内  
Fターム(参考) 3C068 AA04 AA07 BB01 CC06 EE12  
FF06 FF27 JJ03  
3F108 GA01 GB01 HA02 HA32

(54)【発明の名称】ステープルカートリッジ及びそれを備えたステープラ装置

(57)【要約】

【課題】この発明は、多少の振動を受けても食い付  
き現象を起こし難いステープルカートリッジ及び、その  
ステープルカートリッジを備えたステープラ装置を提供  
するものである。

【課題を解決する手段】ステープルをシート状に連結  
したステープル帯材101をロール状に巻き付けて収納  
するステープル収納部102より順次ステープル帯材1  
01を引き出すステープルカートリッジ100で、ステ  
ープル帯材101をロール状に巻き付け積層してなる積  
層面101aと当接しその積層面の広がりを規制する規  
制手段700を設け、この規制手段700でステープル  
帯材101の積層面101aが振動を受けてもロール径  
方向への広がりを規制することが出来、順次引き出され  
るステープル帯材101のステープルカートリッジへの  
食い付き現象を抑える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】ステープルをシート状に連結したステープル帶材をロール状に巻き付けて収納するステープル収納部を有し、この収納部より順次ステープル帶材を引き出すステープルカートリッジにおいて、前記ステープル帶材をロール状に巻き付け積層してなる積層面に当接しその積層面の広がりを規制する規制手段を設けたステープルカートリッジ。

【請求項2】前記規制手段はステープル帶材の積層面が対峙するステープル収納部の内壁面に設けられて成る請求項1のステープルカートリッジ。

【請求項3】前記規制手段はステープル帶材の積層面と対峙するステープル収納部の内壁面との間に介在された規制板から成る請求項1のステープルカートリッジ。

【請求項4】前記規制板はステープル帶材の引き出しに追従して回動する請求項3のステープルカートリッジ。

【請求項5】ステープルをシート状に連結したステープル帶材をロール状に巻き付けて収納する収納部を有し、この収納部より順次ステープル帶材を引き出すステープルカートリッジを備えたステープラ装置において、前記ステープル帶材をロール状に巻き付け積層してなる積層面に当接しその積層面の広がりを規制する規制手段を設けたステープルカートリッジを備えたステープラ装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、ステープルカートリッジに内装されたステープルを綴じ媒体（シート束）に打ち込んで綴じるステープラ装置に関するものである。特に、綴じ媒体に打ち込むステープルを確実に引き出し得るステープルカートリッジに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】一般に、この種のステープラ装置は、ステープルをシート状に連結したステープル帶材をロール状に巻き付けて収納する収納部を有し、この収納部より順次ステープル帶材を引き出すステープルカートリッジを備え、このステープルカートリッジより引き出されたステープルを綴じ媒体に打ち込んで綴じるものであった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ステープラ装置のステープル打ち込み位置への移動や、ステープルを綴じ媒体に打ち込む時などに生じる振動でステープル帶材がステープルカートリッジの収納部内で動き廻り、ステープルカートリッジの内壁に衝突した反動で巻き付けたステープル帶材の積層面が解れ、その解れにより積層面が広がり、その結果、ステープル帶材のロール外側面がステープルカートリッジの内壁に密着し張り付くことによって、その張り付きによりステープルカート

リッジの内壁とステープル帶材のロール外側面との間に生起する摩擦力が、ステープル帶材をステープルカートリッジの収納部から引き出す力よりも大きくなり、ステープル帶材を引き出すことが出来ない所謂食い付き現象が発生するといった問題があった。

【0004】この発明は、上記の課題に鑑みて成したものであって、ロール状に巻き付けられたステープル帶材に加えられる振動により巻き付けられたステープル帶材の巻き付き状態が解れ難くして食い付き現象を起こし難いステープルカートリッジ及び、そのステープルカートリッジを備えたステープラ装置を提供することを目的とするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明は、ステープルをシート状に連結したステープル帶材をロール状に巻き付けて収納する収納部を有し、この収納部より順次ステープル帶材を引き出すステープルカートリッジにおいて、前記ステープル帶材をロール状に巻き付け積層してなる積層面に当接しその積層面の広がりを規制する規制手段を設けたステープルカートリッジからなるものである。

【0006】この発明によるステープルカートリッジは、ステープル帶材の積層面に当接した規制手段により、振動を受け移動しようとするステープル帶材のその移動を規制することによって、巻き付けたステープル帶材の積層面のロール径方向への広がりを、例えステープル帶材のロール外側面がステープル収納部の内壁面に接したとしても、その時にステープル収納部の内壁面とステープル帶材のロール外側面との間に生起する摩擦力が30ステープル帶材をステープル収納部から引き出す力よりも大きくならない範囲に抑えることが可能になり、順次引き出されるステープル帶材のステープルカートリッジへの食い付き現象を抑えることが出来る。

【0007】請求項2のステープルカートリッジは、請求項1の発明のステープルカートリッジの規制手段がステープル帶材の積層面が対峙するステープル収納部の内壁面に設けられている。

【0008】この発明によるステープルカートリッジは、規制手段をステープル側面に設けることによって、組み立て性に優れ、順次引き出されるステープル帶材のステープルカートリッジへの食い付き現象を抑えることが出来る。

【0009】請求項3のステープルカートリッジは、請求項1に記載の発明によるステープルカートリッジの規制手段が、ステープル帶材の積層面と対峙するステープル収納部の内壁面との間に介在された規制板からなる。

【0010】この発明によるステープルカートリッジは、ステープル帶材の積層面とステープル収納部の内壁面との間の隙間が交換ステープル帶材の加工等でばらついた時でも、そのばらつきに応じ規制板の板厚や、介在

する板の枚数、更には摩擦係数の異なるものを選択し調整することで、そのばらつきを調整することが出来、順次引き出されるステープル帯材のステープルカートリッジへの食い付き現象を抑えることが出来る。

【0011】請求項4のステープルカートリッジは、請求項3に記載の発明によるステープルカートリッジの規制手段が、ステープル帯材の引き出しに追従し回動する。

【0012】この発明によるステープルカートリッジに設けられた規制手段はステープル帯材の引き出しに追従し回動するために、引き出す時の負荷を相当軽減することが出来、食い付き現象を抑えつつ容易に引き出し得る。

【0013】請求項5に記載の発明は、ステープルをシート状に連結したステープル帯材をロール状に巻き付けて収納する収納部を有し、この収納部より順次ステープル帯材を引き出すステープルカートリッジを備えたステープラ装置において、前記ステープル帯材をロール状に巻き付け積層してなる積層面に当接しその積層面の広がりを規制する規制手段を設けたステープルカートリッジを備えたステープラ装置からなるものである。

【0014】この発明によるステープラ装置に用いられるステープルカートリッジは、規制手段によりステープル帯材の積層面が支持されることによって、ステープラ装置を組み込んだシステム本体からの振動やステープラ装置がステープルを打ち込む際の自己発生の振動、更にはステープラ装置へ組み込まれる前の保管状態にある時に加えられる振動等の振動を受けても巻き付けたステープル帯材の巻き付きが解れるのを抑えることが出来、順次引き出されるステープル帯材のステープルカートリッジへの食い付き現象を抑えることが出来る。

#### 【0015】

【実施例】以下、図面に基づき本発明に係わるステープラ装置の実施例について説明する。

【0016】図1は一部分を断面としたステープラ装置の全体を示した外観斜視図で、大別してステープルカートリッジ100と、カートリッジホルダ200と、ステープラ本体300とから成る。

【0017】まずステープラ本体300は、装置の組立順に沿って説明すると、本体フレーム310、図示せぬ電動駆動ユニット、ステープルヘッドユニット330、作動レバー340、アンビルユニット350、クリンチャユニット360、連結レバー370、及びアンビルばね380、紙厚吸収ばね390、クリンチャばね400、更にマニアル駆動板500から成る。

【0018】この本体フレーム310は、左右に立設した側面と底面から成る断而四字状に板金をプレス加工したもので、電動駆動ユニットと、その上方に図2で示すようにホルダガイド301、及び先端部位にステープルヘッドユニット330を内装保持するとともに、側面外

壁に他のユニットを適宜支持する。

【0019】尚、図示せぬ電動駆動ユニットは、ステープラの駆動源で有る直流モータと、このモータの回転を所定の回転速度に減速させる歯車輪列と、所定速度に減速され回転する各駆動カムより成り、この各駆動カムを使って、後述するステープルヘッドユニット330を駆動し、また作動レバー340と連結レバー370を介しアンビルユニット350、及びクリンチャユニット360を駆動することによってステープラの一連動作をコントロールするものである。

【0020】ステープルヘッドユニット330は、シート載置テーブル331、ドライバー332、フォーマ333、シース334、ベンディングブロック335より成る。

【0021】そして、このステープルヘッド330は、まず先の電動駆動ユニットの最終段に設けられたドライバー駆動カムのピンにより板ばね材をプレス加工し成形されたドライバー332が上方に変位を開始する。

【0022】このドライバー332の変位により、ドライバー332のフォーマ係合片332aがフォーマ333を係合し、シース334に形成した図示せぬ段差面によりその係合が解除する位置までドライバー332とフォーマ333がともに上方に従動する。

【0023】このフォーマ333がベンディングブロック335の針折り曲げ位置に繰り出されたステープルを四字状に折り曲げ、フォーマ333の折り曲げ部の脇で四字状のステープルを打ち込み可能に保持しガイドする。尚、このフォーマ333によりステープルが折り曲げられる位置が以下ステープルの打ち込み位置に相当する。

【0024】この状態でシース334に形成された図示せぬ突起によりフォーマ333との係合が解かれたドライバー332は更にフォーマ333をその位置に残し更に上方へ変位する。

【0025】この上方への変位により、ドライバー332の先端に位置する針打込部332bによりベンディングブロック335をドライバー332の移動領域より前方へ変位し退避する。

【0026】更に上方へ変位するドライバ332の針打込部332bは次のステープルに接着テープにより接着状態にある折り曲げられた成形ステープルをその接着から切り離し、その切り離した成形ステープルを綴じ媒体に打ち込む。

【0027】次に作動レバー340は、アンビルユニット350の側面に沿って左右に延設したアームを持ち、本体フレーム310に挟み込んだ状態で、このアンビルユニット350の側面に設けられた連結支点軸331に支持される。

【0028】また、この作動レバー340の左右のアームの中央部位にはアンビルユニット350との間に紙厚

吸收ばね390が張られ、このばね390により連結支点軸331を中心、アンビルユニット350に形成したストッパー351に当接するよう常時反時計方向に付勢されている。

【0029】更に、この左右のアームの他端に位置するアーム先端部位には電動駆動ユニットにより変位駆動される図示せぬアンビル駆動レバーと係合する端面を有する切欠孔341を形成し、このアンビル駆動レバーにより下方に押圧付勢され連結支点軸331を中心に時計方向に揺動する。

【0030】次にアンビルユニット350は、その一端側のアンビル揺動支点部352が本体フレーム310の支点軸312に揺動自在に支持され、常時アンビルばね380により支点軸312を中心に時計方向に回動付勢される。

【0031】そして、その他端のアンビルヘッド353が作動レバー340の揺動に追従し、アンビルばね380の付勢力に抗し反時計方向に揺動され、綴じ媒体をその束厚に応じた位置で挟持支持する。

【0032】尚、アンビルユニット350が紙厚吸收ばね390により綴じ媒体を挟持支持した後は、その挟持位置にロックされた状態となる為、その後の作動レバー340は紙厚吸收ばね390のばね力に抗し單一で作動を続ける。

【0033】また、アンビルユニット350の綴じ媒体を挟持するアンビルヘッド353には綴じ媒体に下方より打ち込まれ、綴じ媒体を置いたステープル先端を折り曲げる左右一対のクリンチャ354を持つクリンチャユニット360が追従するよう設けられている。

【0034】このクリンチャユニット360は、クリンチャレバー361を有し、アンビルユニット350のアンビル揺動支点部352の支点でもある本体フレーム310の支点軸312に支持され、その先端にはアンビルユニット350のアンビルヘッド353に取り付けられたクリンチャ354を揺動し打ち込まれたステープルを折り曲げるクリンチャヘッド362が取り付けられている。

【0035】このクリンチャヘッド362は、クリンチャレバー361が板厚2.0mmのメッキ鋼板より成形されるのに対し、板厚1.5mmのばね用鋼板により加工成形されたもので、クリンチャ354の押圧ストロークのばらつきを吸収する。

【0036】次に、連結レバー370は、クリンチャばね400を介し、アンビルユニット350の揺動に追従してクリンチャユニット360を揺動し、アンビルユニット350が綴じ媒体を挟持し停止状態で、図示せぬクリンチャ駆動レバーの揺動で引き続き回動するようになっており、アンビルユニット350の綴じ媒体の厚さに応じた挟持位置で停止後も、引き続き回動してステープルの折り曲げを行うようになっている。

【0037】マニアル駆動板500はステープル打ち込みに際し、ステープルが綴じ媒体に正常な状態で打ち込まれず、その不良ステープルによってステープラ装置が動かなくなつた綴じ不良時等に手動でステープラ装置を動かしその綴じ不良状態をリセットをさせるもので、図示せぬ電動駆動ユニットの直流モータの出力軸を逆側に延設し引き出された回転軸に対し、その手動操作が必要な時に嵌め込まれる。

【0038】図2は、図1においてステープラ本体300に装着されたカートリッジホルダ200と、ステープルカートリッジ100をそれぞれ引き抜き分解した状態を示す分解斜視図である。

【0039】このステープラ本体300からの引き抜きに際し、まずステープルカートリッジ100に係合し、装着方向に付勢支持するカートリッジロックレバー600を手で押し下げその係合を外した後、ステープルカートリッジ100をカートリッジホルダ200より引き抜く。

【0040】そして、カートリッジホルダ200をステープル本体300より引き抜く。または、ステープルカートリッジ100をカートリッジホルダ200に装着した状態でカートリッジホルダ200を引き抜いた後、ステープルカートリッジ100をカートリッジホルダ200より引き抜くことも出来る。

【0041】尚、ステープルカートリッジ100とカートリッジホルダ200のステープラ本体300への装着は引き抜きの場合の逆手順で操作すればよい。

【0042】ここで、ステープルカートリッジ100は半透明のプラスチックケースから成り、多数の直線状ステープルを帯状に連結したシートをロール状に巻いたステープル帯材101を収納する収納部102と、ステープル帯材101を引き出す引き出しガイド103より成る。

【0043】この引き出しガイド103はカートリッジホルダ200に装着され、カートリッジホルダ200のステープル移送手段202と係合する為に、先端上面のガイド面が大きく切り取られた開口部104、収納部102より引き出されたステープル帯材101が収納部102へ逆戻りしない様に阻止する逆止爪105、引き出したステープル帯材101の先端を規制し、ステープル本体300への装着状態で、その先端が綴じ位置になる様に位置決めする先端ストッパー106を備えている。

【0044】また、引き出しガイド103の開口部104を形成した先端上面のガイド面に突出し、カートリッジホルダ200への装着時にステープル移送手段202を歩進させ、ステープル帯材101の先端ステープルを先端ストッパー106へ押し付ける為の送り爪歩進突起107を有する。

【0045】更に、ステープルカートリッジ100の両側面には、カートリッジホルダ200に装着する際にガ

イドされるガイド突起108、及びカートリッジホルダ200に装着された際に係止される係止爪109を備えている。

【0046】また、このステープラカートリッジ100は図示されていないが、先端ストッパー106と逆止爪105の適宜位置から収納部102に至る底部を強制的に折り曲げ開放可能になっており、この開放によって逆止爪105によるステープル帯材101の係止を解除することが出来、廃却時に残留ステープルを全て破棄することができる。

【0047】次に、カートリッジホルダ200は、ホルダ本体201と、ステープル移送手段202と、マグネット203と、非磁性体からなるガイド板204と、開口部205と、ガイド206と、係合孔207、補助テーブル208から成る。

【0048】ここで、ホルダ本体201は、ステープルカートリッジ100の前半分を包み込むようプラスチック材により成形されている。

【0049】ステープル移送手段202は、ホルダ本体201に揺動自在に支持され、常時ステープル引き出し方向に図示せぬ板ばねにより付勢され、アンビルユニット350による綴じ媒体挟持動作に連動しチャージされ、そのチャージ解放による復帰動作でステープル帯材101のステープルシート面に押圧する送り爪を有し、ステープル帯材101を歩進送りする。

【0050】マグネット203とガイド板204は、ステープル本体300に装着された状態において、綴じ位置において打ち込まれるステープルに対峙し、磁気吸引力により打ち込みミスしたステープルを磁気吸引しステープラ本体300より装置外へ排除するためのもの。

【0051】開口部205は、ステープラ本体300に装着されたステープルカートリッジ100の先端ストッパー106及び先端ステープルが突出し綴じ位置にセットするための開口である。

【0052】ガイド206はステープルカートリッジ100のガイド突起108をガイドするためのもので切欠溝と底面から成る。

【0053】係合孔207はステープルカートリッジ100の係止爪108と係合し、ステープルカートリッジ100がカートリッジロックレバー600によりロックされるまでの補助的なステープルカートリッジ100の係止手段の一つである。

【0054】補助テーブル208は、ステープラ本体300に装着された際に図1で示す様に、ステープルハットユニット330のテーブル331と共に綴じ媒体が積載される載置台の働きをする。

【0055】図3は、ステープルカートリッジ100を分解した分解図を示すもので、組立順に説明すると、ステープルカートリッジ100をニ分割した一方のカバー100b、このカバー100bの支軸109bに付勢手

段701を嵌め込み、その上からステープル帯材101の積層面101aの広がりを規制する規制手段700bを嵌め込んだ状態で、ステープル帯材101をその上からカバー100bに嵌め込む。そして、規制手段700aをもう一方のカバー100aの支軸109aに付勢手段702を押し込みながら嵌め込んだ状態で被せるよう嵌め込む。最後に逆止爪105をステープル帯材101になるよう挿入することによって組立が完了する。

【0056】特に、規制手段700a、700bはそれぞれステープル帯材101の積載面101a、101bに対峙した面が、ステープル帯材101に振動が加えられたとしても、ある程度の振動であれば容易に移動できない程度に、付勢手段701、702の付勢力を配慮して表面を粗した面、例えばマジックテープ（登録商標）の引っ掛け側のような面で、振動を受けない状態では単にステープル帯材101の積載面に当接した状態で解れを規制するような力をお互いに作用することが無く、振動を受けた状態ではステープル帯材101の積載面との間で振動によりその相対位置が出来るだけ変位しないようにお互いに力を作用することで、巻き付けたステープル帯材の積層面のロール径方向への広がりを、例えステープル帯材のロール外側面がステープル収納部の内壁面に接したとしても、その時にステープル収納部の内壁面とステープル帯材のロール外側面との間に生起する摩擦力がステープル帯材をステープル収納部から引き出す力よりも大きくならない範囲に抑えることが可能になり、順次引き出されるステープル帯材のステープルカートリッジへの食い付き現象を抑えることが出来る。

【0057】また、この規制手段700a、700bを30ステープル収納部102に対し回転自在に支持した規制板とし、しかもその規制手段700a、700bのステープル収納部102に対峙した面は、ステープル帯材101を引き出す際にその巻き付け部分の回転に追従し容易に回動し得るよう滑り易い面、例えば薄い平面性が良いアルミ板などの金属板で、この金属板に前記マジックテープの引っ掛け側の部分を張り付けたものである。

【0058】更に、規制手段700a、700bの規制面は前記マジックテープの引っ掛け側の部分のような面でなく、剣山のように尖った針で、しかも振動するステープル帯材の針先により弹性変形し、その弹性変形による反作用力でステープル帯材の振動による変位を規制するようなものであってもよい。

【0059】図4はドライバー／フォーマ／アンビル／クリンチャの各ユニット工程の動作を説明する為のタイミングチャートで、横軸が各ユニットを駆動する駆動カムの回転角、縦軸が各ユニットのレバーの変位量を示すもので、次にこの一連動作について図1とともに概略説明する。

【0060】まず、綴じ媒体の綴じ位置へのセット完了に伴いステープラ装置に対し外部よりステープル処理実

行の指示信号が出力される。

【0061】この指示信号により図示せぬ電動駆動ユニットの直流モータが回転を開始し、最初に図示せぬアンビル駆動カムによりアンビルばね380に抗し作動レバー340を下方へ押し下げる。

【0062】この作動レバー340の変位に追従してアンビルユニット350が下方へ作動して綴じ媒体の挟持動作を開始する。

【0063】尚、このアンビルユニット350の挟持動作に連動して、連結レバー370とクリンチャばね400により連結されたクリンチャユニット360がアンビルユニット350に追従して揺動する。

【0064】まず、このアンビルユニット360の動作について説明するに、ホーム位置A0から動き始め、例えば100枚の綴じ媒体を挟持する位置A1から綴じ媒体が0枚の挟持位置A2までの間で、綴じ位置にセットされた綴じ媒体の厚さ（枚数）に応じ挟持した位置での揺動を停止される。

【0065】このアンビルユニット360による綴じ媒体の挟持後は、作動レバー340のみが紙厚吸収ばね390に抗し変位を続け、アンビルユニット360が部品、組立等のバラツキを配慮して綴じ媒体が0枚の状態であっても確実に挟持出来るよう位置A2にオーバストローク分加えた位置A3に相当する位置まで変位出来、アンビルユニット360による綴じ媒体の挟持動作を完了する。

【0066】このアンビルユニット360による綴じ媒体の挟持動作を完了する位置A3に至る動作前に、図示せぬドライバー駆動カムによりドライバー332が上方へ変位され、この変位によりフォーマ333が追従して上方へ押し上げられる。

【0067】このドライバー332はアンビルユニット360がA1位置をすぎた位置D1時点より動き始め、位置D2でフォーマ333が打ち込み位置に繰り出されたステープルに押圧し、そのステープルを凹字状に成形を開始、引き続くストロークでその成形済みの成形ステープルの折り曲げたステープル両先端を外側から、バンディングブロック335の側面端部に押し当てガイドすることで、ステープル両先端はフォーマ333とバンディングブロック335とカートリッジホルダ200の非磁性材から成るガイド板204の壁面により左右前後を確実に保持される。

【0068】そして、ドライバー332の成形ステープルに当接する先端部分でまずバンディングブロック335の傾斜面を押し込み、バンディングブロック335をドライバー332の先端部分の移動軌跡内より退避した状態で、ドライバー332の先端部分が位置D3で成形ステープルに当接し、アンビルユニット350の綴じ媒体を挟持した位置A3より遅れてドライバー332により押し込まれる成形ステープルの先端が綴じ媒体のシート面に当接する位置D4に到達して、ドライバー332による成形ステープルの綴じ媒体への打ち込みが開始される。

ト面に当接する位置D4に到達して、ドライバー332による成形ステープルの綴じ媒体への打ち込みが開始される。

【0069】このドライバー332によるステープル打ち込み開始後、多少遅れ位置D5でドライバー332のフォーマ333に係合した係合部がシース334の段差突起によりその係合が解かれると同時に、フォーマ333の先端が綴じ媒体のシート面に当接する直前の位置D6でフォーマ333はドライバー332との係合も解かれ、フォーマ333は停止し、ドライバー332により打ち込まれる成形ステープルの折り曲げ端部をガイドする。

【0070】引き続くドライバー332による成形ステープルの打ち込みが行われ、位置D7で成形ステープルのクラウンが綴じ媒体のシート面に当接後、更にドライバー332は位置D8までドライバー駆動カムにより押し込まれることとなるが、ドライバー332は成形ステープルを押し込むことが出来ないため、板ばねからなるドライバー332自身がそのオーバストロークの分だけ弹性変形することで、取り付け位置等のバラツキを吸収し、確実に成形ステープルを打ち込む。

【0071】そして、ドライバー332により成形ステープルが打ち込まれた位置D8直後の位置C1よりクリンチャユニット360が図示せぬクリンチャ駆動カムで下方へ押し込まれるクリンチャ駆動レバー602により揺動され、クリンチャ354を押圧し、綴じ媒体を貫通したステープルの先端を折り曲げ位置C2でクリンチ動作を完了させる。

【0072】このクリンチ動作完了後、まず位置D11にあるドライバー332が復帰動作を開始し、途中フォーマ333を再度連結し位置D12、D13を介し初期の位置にあたるD0に戻る。

【0073】このドライバー332の復帰動作に多少遅れアンビルユニット350が復帰動作を開始し、位置A6を介し初期の位置にあたるA7に戻る。

【0074】最後に、アンビルユニット350の復帰動作に多少遅れクリンチャユニット360が復帰動作を開始し、初期の位置C4に戻り一連のステープル動作を完了する。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係るステープルカートリッジを装着したステープラ装置の部分断面からなる外観斜視図である。

【図2】 本発明に係るステープルカートリッジを装着したステープラ装置の各ユニット毎に分解した外観斜視図である。

【図3】 本発明に係るステープルカートリッジの部分分解斜視図である。

【図4】 本発明に係るステープルカートリッジを装着したステープラ装置の動作を示すタイミングチャートあ

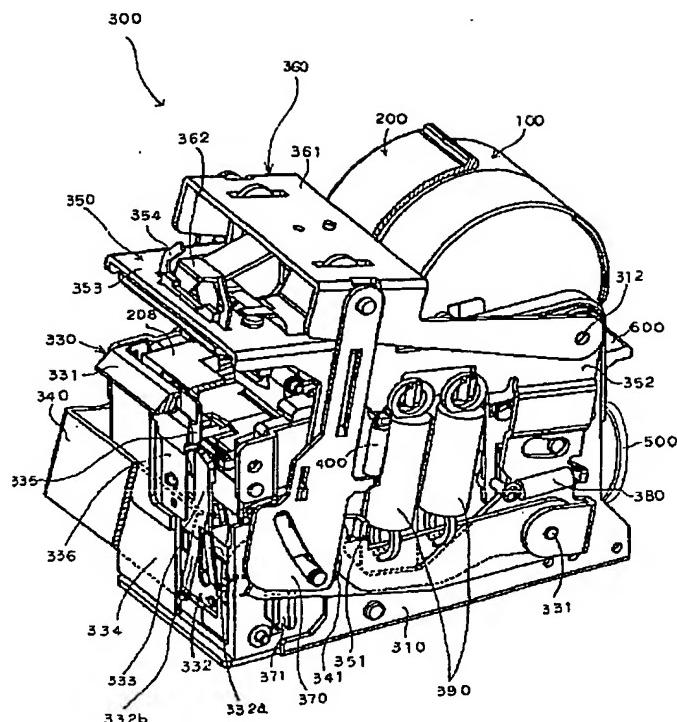
る。

## 【符号の説明】

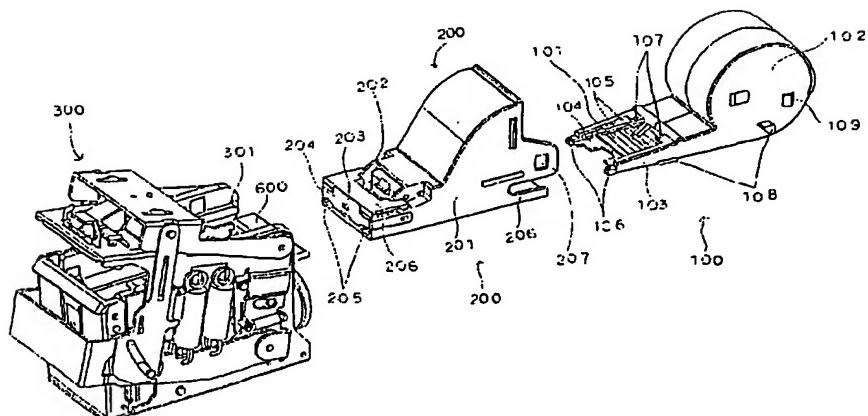
- 100 ステープルカートリッジ
- 101 ステープル帯材
- 101a、101b 積載面

- 102 ステープル収納部
- 200 カートリッジボルダ
- 300 ステープラ本体
- 700 規制手段（規制板）

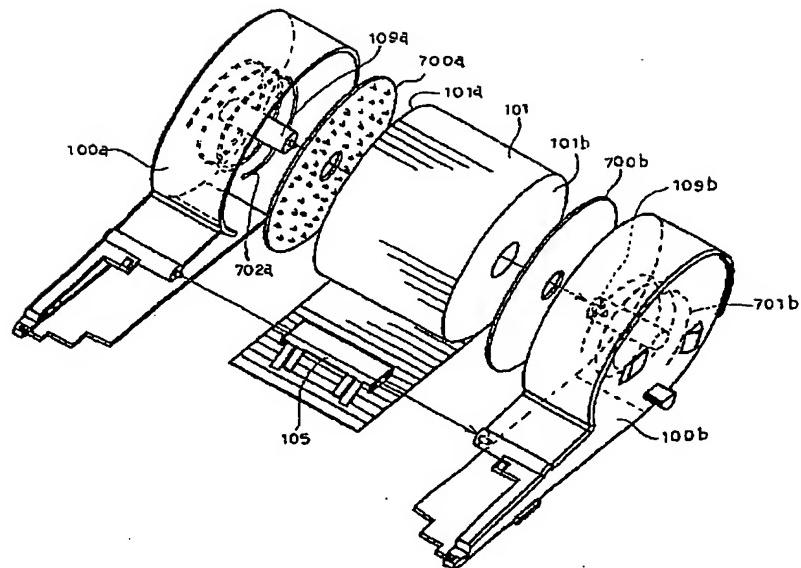
【図1】



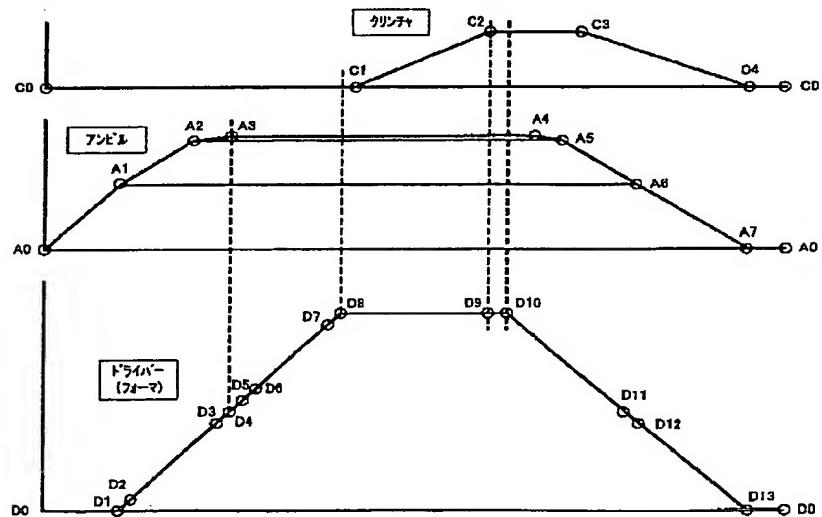
【図2】



【図3】



【図4】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**